

林業安全コラム

あなどるな 慣れに過信に 潜むワナ
 (平成27年度林材業労働安全及び労働衛生ポスター標語入選作)

○ 林業労働災害発生状況

	H23年	H24年	H25年	H26年	25年比較	摘 要
死傷者数(人)	2,219	1,897	1,723	1,529	-194	27年1月7日現在
死亡者数(人)	38	37	39	42	+3	〃

厚生労働省の労働災害発生状況(速報)によると、林業における平成26年の労働災害は、死傷者数は前年と比べて減少していますが、死亡者数は3名増加するとともに、本年も既に3件の死亡災害発生の報告が該当県から寄せられています。

つきましては、作業者におかれては安全な作業行動を再度確認するとともに、事業主におかれても労働災害防止への強い意識を持ち、組織が一丸となって安全衛生活動に取り組んでいただくようお願いいたします。

○ クマ等野生動物の危険性について！

北海道において、ヒグマに襲われる災害が相次ぎ、1月下旬に枝打ち作業中に死亡災害が発生するとともに、2月上旬に収穫調査中に重症災害が発生しました。

冬場はクマは冬眠しているものと過信せず、クマの被害が予想される場合は、クマの出没状況を確認したり、クマ鈴等音の出るものを鳴らすなどクマと遭遇しないよう万全の対策をお願いします。



○ 林業労働災害の発生事例について (類似災害防止のために！)

【事例】

当日、被災者は同僚2人とスギ人工林の皆伐作業に従事。

8:30頃、被災者が傾斜37度の斜面においてスギ立木(D:35cm L:18m)の伐採中に被災。

直ちに救急連絡を行い、被災者は救急車・ドクターヘリにより病院に搬送されたが、10:00頃、死亡を確認。

<目撃者がいないため現場状況から推測>

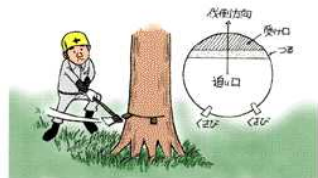
被災者は、スギ立木を上方45度の方向に伐倒しようとチェーンソー伐倒を行っていたところ、伐倒方向が狂い、伐倒木が伐倒予定方向の更に上方に倒れたものと思われる。

その際、伐倒木が切り株(H:1.5m)に当たり、その弾みで伐倒木の根元が振られ被災者に激突。更に近くの立木との間に身体が挟まれたものと推測。

【伐採作業においては、くさびを使用するなど確実な伐倒の徹底を！】



くさびと伐倒



<お知らせ>

※ 林野庁では、平成27年度に実施予定の次の事業について実施主体を公募しています。詳しくは、林野庁ホームページをご覧ください。

- 「緑の雇用」現場技能者育成対策事業
- ・ 新規就業者の確保・育成・キャリアアップ対策
- ・ 安全な器具機材の開発・改良
- ・ 林業労働安全推進対策

http://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/27koubo_2/index.html

林業労働対策室
労働安全衛生班